学費の公私間格差是正、「私学も無償に」、就学支援金制度の維持・拡充、

	本人出席議員のみなさん					代理出席議員のみなさん								
	お名前	選出	院	会	No	±.	 名前	*****	山/市研	選出	7,20,0	院	会	
	方質道也議員 方質道也議員	山形	参	無	i	-				新潟		衆	自	
	木村次郎議員	青森	衆	自	-				览页 議員	愛知		衆	立立	
	田島麻衣子議員	愛知	参	立	-		-		"[] 議員	石川		衆	自	
	伊藤岳議員	埼玉	参	共	l –	_			か議員	神奈	JII	参	公公	0
	玉木雄一郎議員	香川	衆	民	-	—			議員	京都		参	共	Ĭ
	磯﨑仁彦議員	香川	参	自					議員	熊本		衆	自	
	佐藤公治議員	広島	衆	無	7	岡	本あ	き-	子議員	比例	東北	衆	立	
	稲富修二議員	比例九州	衆	民	8	牧	義夫	議	員	比例	東海	衆	民	☆
☆	根本幸典議員	愛知	衆	自	9	斎	藤嘉	隆	議員	愛知		参	立	
	宮本徹議員	比例東京	衆	共	10	西	村明	宏	議員	宮城		衆	自	
	木戸口英司議員	岩手	参	民	11	山	貿田	同	議員	兵庫		衆	自	
	武田良介議員	比例	参	共	12	志	位和]夫	議員	比例	南関東	衆	共	
	井上哲士議員	比例	参	共	13	前	原訓	問	議員	京都		衆	民	
	黒岩宇洋議員	新潟	衆	立	14	中	谷-	-馬	議員	比例	南関東	衆	立	
	田中英之議員	京都	衆	自	15	鈴	木馨	補	議員	神奈	JI	衆	自	
	本村伸子議員	比例東海	衆	共	16	笠	浩史	2議	員	神奈	JI	衆	無	☆
	安江伸夫議員	愛知	参	公	17	Ξ	宅俳	吾	議員	香川		参	自	
	古川元久議員	愛知	衆	民	18	木	村劲	「生	議員	比例	近畿	衆	自	
	左藤章議員	大阪	衆	自	19	吉	川元	議	員	比例	九州	衆	社	☆
	階猛議員	岩手	衆	無	20	大	塚幇	平	議員	愛知		参	民	
	西村智奈美議員	新潟	衆	立	21	中	村袑	之	議員	北海	道	衆	自	☆
	野田国義議員	福岡	参	立	-	_			議員	比例	近畿	衆	自	
	尾辻かな子議員	比例近畿	衆	立	23	Ξ	原朝	彦	議員	福岡		衆	自	
	泉健太議員	京都	衆	民	_	_			議員	比例	東海	衆	民	
	矢上雅義議員	比例九州	衆	立					議員	比例	東海	衆	自	☆
	辻元清美議員	大阪	衆	立	-	_	谷昇			比例	近畿	衆	自	
☆	安藤裕議員	京都	衆	自	_	_			郎議員	香川		衆	自	
☆	青山周平議員	比例東海	衆	自	_				議員	比例		衆	共	
	松田功議員	比例東海	衆	立	-	_	藤沙			比例	東海	衆	公	
	舟山康江議員	山形	参	無		_			議員	山形		衆	自	
	福島みずほ議員	比例	参	社		_			議員	熊本		衆	自	
	新妻秀規議員	比例	参	公	-	_			議員	愛知		衆	自	
	工藤彰三議員	愛知	衆	自		_			議員	長野		衆	民	
	大西宏幸議員	大阪	衆	自					議員	比例		衆	無	
	古賀之士議員	福岡	参	民					議員	千葉		衆	自立	
	牧山ひろえ議員	神奈川	参	立		_	谷裕			 	北海道	衆	立	
	今枝宗一郎議員	愛知 大阪	衆衆	自自					議員	石川		参衆	且	
	長尾敬議員 森山浩行議員	比例近畿	衆	立		_			議員 郎議員	山形 神奈		衆	自自	
	横澤高徳議員	岩手	参	民					^{꽈睋貝} 議員	+	<u>/''</u> 北信越	衆	民	☆
_	古良よし子議員	東京	参	共	-				_{我貝} 議員	神奈		衆	自	
	大西健介議員	愛知	衆	民	-	-			議員	比例		衆	自	
☆	畑野君枝議員	比例南関東	衆	共	_	_			議員	愛知	A√10	参	公公	
<u> </u>	空井亮議員 空井亮議員	比例東京	衆	共	44	Ħ	ノじ 1/生	E/DI	找只	조새		7	Д	
0	伊藤孝恵議員	愛知	参	民	45			本			代		計	
۲	吉田統彦議員	比例東海	衆	立	46		衆	_		32		36		
1	ロロッシの成尺	ところを出	//\		T U	1 1	/17	-					\vdash	

長尾秀樹議員

神田憲次議員

田嶋要議員

山添拓議員

比例近畿

比例東海

比例南関東

自

48

49

트	ᇨ	加哦只	タル		*	Д	L
		本		代		計	
	衆		32		36	68	
	参		18		7	25	
			50		43	93	

…衆議院文部科学委員 10

…参議院文教科学委員 4

私学助成署名維進ニュース

No.30 2019年12月12日(木)

全国私立学校教職員合連合

12.6(金)東京都千代田区永田町の衆議院第一議員会館大会議室を会場に、私学助成全国署名集約「12...6 学費の公私間格差・自治体 間格差是正を求める院内集会」が開催されました。全国 32 都道府県から 250 名(高校生 2 道県 5 名、父母 136 名、教職員 109 名) が結集し、会場を埋めつくしました。

集会前に国会議員要請を行う県もあり、そうした各県の動きにより国会議員関係は、議員本人だけでも6政党+無所属50名が参加 しました。代理43名に議員・秘書両参加8名を含めると議員関係101名参加という「院内集会」史上空前の議員参加となりました。 国が発表した「2020年4月就学支援金制度拡充」の支援額が具体的にされない中での次年度予算編成期の集約集会です。昨年同 期集約数に及んでいないとはいえ、300万を超過する326万3481筆という集約数を国会議員の前に積み上げたことは、40万円 を下回らせない大きな力となるものといえます。

冒頭全国私学助成をすすめる会共同代表の鈴木さんは、「国が拡充を打ち出したことはあ りがたい。 しかし北海道では 2014 年改正時に道独自予算を引き去ったまま制度拡充がすす んでいない。今回はそうした事が無いように、国会議員のみなさんにもお願いしたい」とあ いさつしました。つづいてあいさつに立った永島共同代表からは、「国は年収 590 万円未満 世帯まで一律で私立高校の授業料を無償にするというリーフを9月に中学生に配布した。福 井県、東京都では、これを受けて自治体独自制度を拡充する方向を見せている。しかし、国 はまだ、具体的な額を明示していない。予算編成の最後の最後で値切ってくる場合もある。 それを心配している県もある。そういうことが起きないよう、またどこに生まれても、同じ ように経済的心配なく私学を選択できるよう、署名を最後まで頑張ろう。また、議員のみな さんのお力添えをお願いします」と述べました。



永島共同代表

鈴木共同代表

ないで済むように私字助**成**の 高校生代表あいさつ

共同代表のあいさつに続き、30名を超える国会議員さんを前に北海道の北星学園女子高校授業料 安定委員会の3人が、高校生の思いを発信しました。

北星学園女子高校では、学費の公私間を是正し経済的心配なく私学で学べるようにしたいという願 いから先輩方が「授業料安定委員会」を設立し自分たちが継いでいる事、胆振東部地震等の影響で中 止されていた街頭署名に2年ぶりに学園として取り組んだこと、高校学費の負担により大学進学先を 狭められ、夢を諦めさせられている事などが報告され、お金の心配なく学べるようにしてほしいと強 く訴えらました。

また、議員さんからのごあいさつ後、新潟から参加した高校生が、米百俵の話を引きつつ、授業料 軽減補助の拡充を訴えました。





議員関係 93名の参加 (本人・代理ともに参加7名を加えてのべ101名参加)

	本	代	計
自民	12	23	35
立憲民主	12	5	17
国民民主	9	6	15
公明	2	3	5
共産	9	3	12
維新	0	0	0
自由	0	0	0
希望の党	0	0	0
社民	1	1	2
日本のこころ	0	0	0
沖縄大衆	0	0	0
無	5	2	7
計	50	43	93

参加政党+無所属数